

これまでと  
これから。



# Neō Woods

根尾の広葉樹活用プロジェクト

[www.neowoods.jp](http://www.neowoods.jp)



# 根尾の広葉樹活用プロジェクトとは

岐阜・飛騨高山にある木工房「オークヴィレッジ」では循環型社会を目指したモノづくりを理念に掲げ、これまで40年間日本の広葉樹を使ったモノづくりを行いながら山から木を一本もらったら木を1本返して【未来】に森林資源を残そうと活動を続けてきました。同じく飛騨高山にある「カネモク」では広葉樹製材のフロントランナーとして飛騨の広葉樹を使ったモノづくりを支えてきました。一方で岐阜・根尾地区にある「根尾開発」では広葉樹の森を”木の貯蔵庫”として捉えて、機能的に管理することで広葉樹の価値を高め、しかも環境負荷の少ない林業に取組みはじめました。

この岐阜県内の広葉樹に携わる林業と製材業、木製品製造・販売業の3社が連携し、私たちが【現在】使う日本の森林資源の扱い方を見直し、価値ある広葉樹を価値あるモノにしようとする取組みがこのプロジェクトです。根尾の広葉樹活用プロジェクトの鍵を握る最も重要な取組みは、森林整備の過程で伐採された広葉樹の中でも市場の規格から外れ、良材でありながら使われてこなかった「規格外広葉樹」を活用するスキームを構築するということです。

私たちはこの取組みを実践することで、より環境に寄り添った地場型・循環型の国産広葉樹活用システムを確立し、モノづくりと自然環境の未来に「木」という再生可能資源を使った持続可能な循環型社会を実現したいと考えています。



# これまでの「規格外」を、これからのは「規格」に

森林大国といわれる日本。その中でも岐阜県は森林面積が約8割を占め、全国屈指の豊富な森林資源を得られる環境にあります。

木材を中心とした森林資源は、山から丸太を伐り出す「林業」、丸太を板状の木材に製材する「製材業」、木材を製品へと技術加工する「木工業」の3者の手を経て、私たちの暮らしの製品として市場に並びます。それはまさに、山の源流から広い大海へと繋がる川の流れに似ています。

川の上流で流れを堰き止めると下流の水量も減ってしまうように、木材も「太さが一定以上のもの、形状が整っているもの」という基準で規格外と見なし、市場流通に乗ることのない木が除外されています。それら規格外の木は現状、主にパルプ原料としての有用性しかなく木が育った年数分の価値にできていませんでした。

本プロジェクトは、岐阜県の事業で出会った林業・製材業・木工業の3者が連携し、それぞれが独自に有する技術と手法を駆使して、従来の「規格外」を、今後の「規格」の価値へと高めてゆく試みです。

## 根尾の広葉樹活用プロジェクト連携協定とは

岐阜県内で林業を担う有限会社根尾開発と製材業を営む株式会社カネモク、木製品を製造・販売するオークヴィレッジ株式会社が連携。良材であっても曲がっていたり細かったりして通常は規格外とされる広葉樹を、お椀から建物まで手がけるオークヴィレッジが木の使い方をあらかじめ指定して材料加工することで良材の使える幅を広げ、森林資源の価値を創造するプロジェクトです。



### 有限会社根尾開発

岐阜県本巣市根尾地域を中心に3000haを超える社有林を持つ森林財産管理会社で、40年間育林、維持管理、木材生産を行うとともに広葉樹育林にも取り組んでいる。規格外広葉樹の効率的な運搬と選別手法の確立とその実行を担う。

### 株式会社カネモク

岐阜県高山市にて主に家具材を製材する広葉樹専門の製材業者。木材の歪で複雑な形状や小径木であることにより規格外とされていた材料を効率的に木製家具や小物等の用材に製材する手法の確立と実行を担う。

### オークヴィレッジ株式会社

家具をはじめ文具、玩具、テーブルウェアといった小物まで生活に関わる木製品を一貫生産している。そのため、製品の大きさや特性に応じて様々な材を使える強みを活かして規格外の材であっても製品に使用する手法の確立と制作を担う。

# このプロジェクトの社会的貢献

## 01. 規格外の材料を活かす

良材であっても十分な太さの径でない材、湾曲した複雑な形状の材を、林業・製材業・木工業それぞれの職人が連携して材を見極め、制作するものに合わせて材料に仕上げることで、木材としての価値を損ねることなく、有用性高く活かすことができます。

## 02. 地場型のモノづくりを実現

木材の調達の多くを輸入に頼り、または国内でも遠路運搬が多い現況に対し、伐採～製材～製品加工まで同一地域内で取り扱うことで、輸送エネルギーを最小限に抑えながら環境負荷の軽減を実現できます。また遠路運搬ではないもう1つのメリットが、需要に応じて旬の材料を必要な分だけ伐採し、価値ある製品にすることができるということです。

## 03. 日本の木の文化を継承

国産広葉樹材の加工に精通し、お椀から建物まで暮らし全般に関わるものを木を使って制作してきた技術を駆使し、高付加価値な木製品の製造・販売までを体系化。生産基盤とあわせて販売基盤を安定させることで、先人の木工技術・文化を絶やすことなく継承し、発展させることができます。

# 森を 「木の貯蔵庫」 として捉える

本プロジェクトで材を得る岐阜・根尾地域内の森では、すでに森の管理実験を始めています。例えば、広葉樹の森を大きな「木の貯蔵庫」と捉え、貯蔵庫の中身を「しっかりと把握」して「鮮度管理」し、必要な材料を得るためにその需要に合う木だけ「収穫」するという考え方です。つまり「しっかりと把握」というのは森にどのような木が生育しているか、どの木が生育しやすい環境なのかをデータを集めて分析することであり、「鮮度管理」とは目的の木材となるように森の木を見極めて価値ある素材を得ることのできる山に管理するというものです。そして「収穫」とは収穫期を迎えた野菜を摘んで収穫するかのごとく、木材需要に応じたデータの中から選び出し、その木だけを伐採して製材に出すというシステムです。

この方法なら森全体としては全く木がなくなる期間が無くなり、環境保全や観光資源としても機能します。

詳しくは7月発刊予定の「オークヴィレッジ通信2015年夏号」をご覧ください。

ご購読をご希望の方はこちら

<https://www.oakv.co.jp/news/sylvanclub.html>



しつかり把握  
鮮度管理

←

木だけを収穫  
需要に応じた



私たちは、循環型社会の実現を目指し、

森林資源の有効活用のための仕組みづくりに取り組みます。

林業と広葉樹を使ったモノづくり産業の活性化、

そして未来に向けた日本の豊かな森を育むため、

ぜひともこのプロジェクトを応援してください。

**主催・問い合わせ先**

根尾の広葉樹活用プロジェクト連携協定(事務局/オークヴィレッジ株式会社) TEL:0577-68-2244(代表)

有限公司 根尾開発 〒501-1522 岐阜県本巣市根尾樽見27-7 TEL:0581-38-2353

株式会社 カネモク 〒506-0035 岐阜県高山市新宮町112-11 TEL:0577-34-0655 <http://kanemoku.jp>

オークヴィレッジ株式会社 〒506-0101 岐阜県高山市清見町牧ヶ洞846 TEL:0577-68-2244 <http://www.oakv.co.jp>

**公式Webサイト**

Web: <http://neowoods.jp/>



**facebookページ**

<https://www.facebook.com/neowoods.ov.km.nk>



お客様の手に渡るのが何よりもうれしい。  
だからこそ、細くても木肌がきれいなこの広葉樹が  
山で木を伐る僕は、この木がどんなモノに  
生まれ変わるか、いつもイメージしている。





自分は、森と人の  
暮らしづつなぐ

「架け橋」だと思つて  
いる。

木材を見極める人の判断力次第で、  
木材は生きることもできるし、  
死んでしまうこともある。毎日が真剣勝負だ。





木の表面を加工しながら、  
心では木の中心を感じています。  
技術だけでは解決できない  
広葉樹が持つ力をカタチにしたい。

山の木は自分で動くことができない。  
だけど我々の努力で世界中に届けることができる。

